

桑折町が新たに歴史まちづくりの仲間入り

～東北地方の歴史まちづくり計画の認定が7市町に！～

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（通称：歴史まちづくり法）」第5条に基づき、福島県桑折町から計画認定申請があった歴史的風致維持向上計画について、3月28日に主務大臣（文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣）が認定を行います。

なお、当日は、下記のとおり、津島国土交通大臣政務官が、主務大臣連名の認定証を桑折町長に対して直接交付致します。

東北地方整備局管内では、これまで6市町（弘前市、白河市、多賀城市、鶴岡市、国見町及び磐梯町）が認定を受けているところですが、今回1町が加わることにより7市町となります。（福島県では、白河市、国見町、磐梯町に続いて4番目となります。）

認定証交付の日時：平成28年3月28日（月）
14：30～15：00（予定）

認定証交付の場所：国土交通省（中央合同庁舎3号館）
4階 津島国土交通大臣政務官室
（東京都千代田区霞が関2-1-3）

○取材について

- ・冒頭より認定証の手交までカメラ撮り可能です。
- ・認定式終了後にぶらさがり取材が可能です。
- ・カメラ撮りをご希望の方は、当日14：15までに4階エレベーターホールにお集まり下さい。
- ・和歌山県湯浅町についても同日認定されます。

○資料 別紙のとおり

〈発表記者クラブ：福島県政記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

〈問い合わせ先〉

国土交通省 東北地方整備局 電話 022-225-2171（代表）
建政部 計画・建設産業課長 上原 茂樹（内6121）
計画・建設産業課長補佐 荒関 保（内6132）

○歴史的風致維持向上計画の認定について

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（通称：歴史まちづくり法）」は、地域の歴史的な風情、情緒を活かしたまちづくりを支援すべく平成20年5月に公布され、同年11月に施行されました。

この法律は、我が国固有の歴史的建造物や伝統的な人々の活動からなる歴史的風致について、市町村が作成した歴史的風致維持向上計画を国が認定することで、法律上の特例や各種事業により市町村の歴史まちづくりを支援するものであり、これまで東北地方の弘前市、白河市、多賀城市、鶴岡市、国見町及び磐梯町を含め、全国で51市町村の計画を認定しています。

このたび、福島県桑折町及び和歌山県湯浅町が認定されたことにより、認定市は53市町となります。（別添参照）

◇東北地方整備局管内のこれまでの認定状況

	市町村	認定日
1	弘前市	平成22年 2月 4日
2	白河市	平成23年 2月23日
3	多賀城市	平成23年12月 6日
4	鶴岡市	平成25年11月22日
5	国見町	平成27年 2月23日
6	磐梯町	平成28年 1月25日

○桑折町の計画の概要

桑折町歴史的風致維持向上計画（福島県桑折町 認定申請日 H28.2.26）

重要文化財「旧伊達郡役所」や伊達氏居城の史跡「こおりにしやま桑折西山城跡」等と、諏訪神社の夏祭りや半田の京都祇園囃子等からなる歴史的風致の維持向上を図るため、桑折西山城跡の整備や歴史的建造物の修景助成、歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業等が位置づけられています。



【重要文化財
旧伊達郡役所】

【計画についてのお問い合わせ先】

◇桑折町政策推進課

Tel 024-582-2115

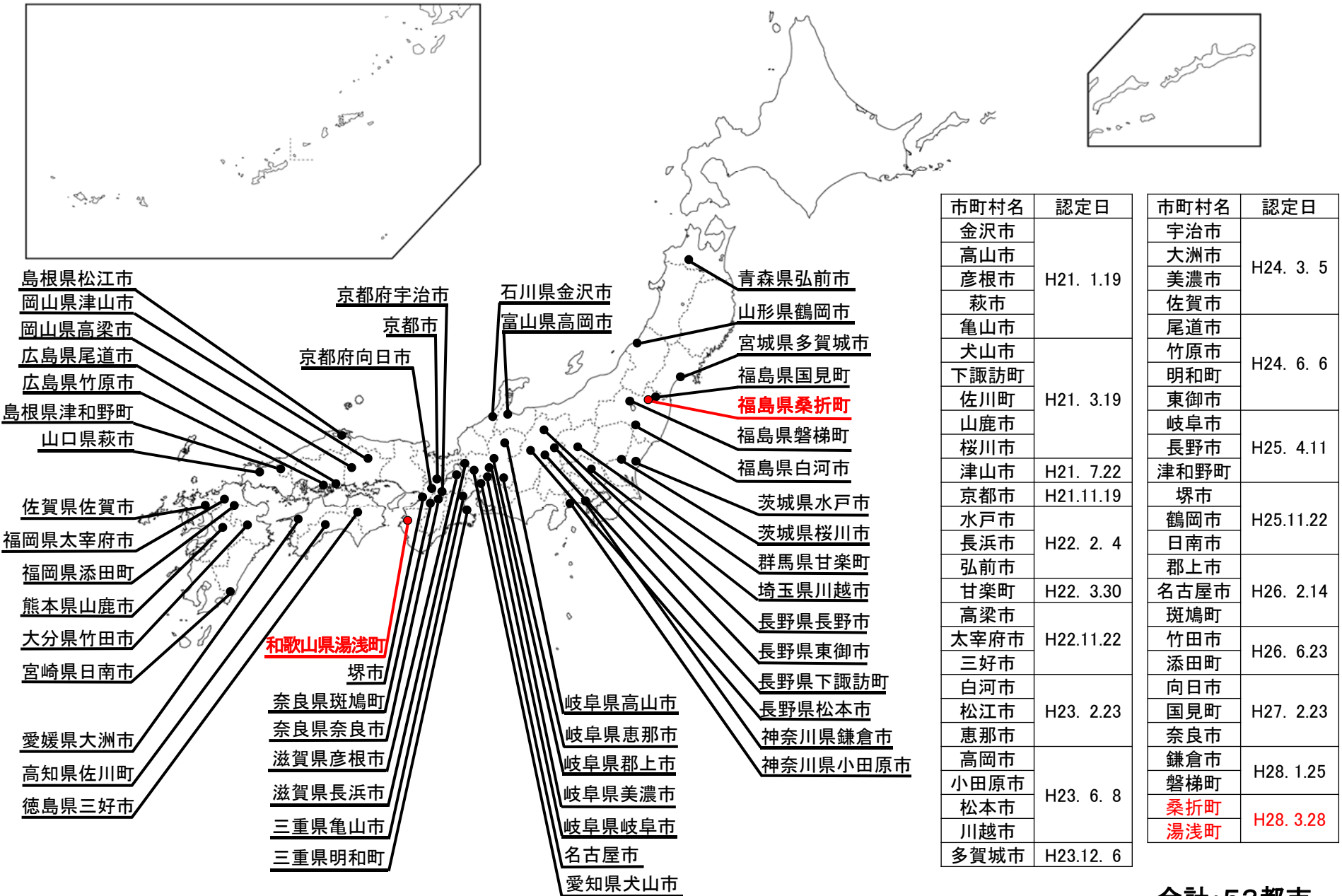
※今回認定を受ける歴史的風致維持向上計画については、国土交通省、文化庁及び町のホームページに28日以降に公開されます。

・国土交通省HP：

http://www.mlit.go.jp/toshi/rekimachi/toshi_history_tk_000010.html

歴史的風致維持向上計画認定状況

平成28年3月28日



合計:53都市

桑折町の維持向上すべき歴史的風致

桑折町には、美しい半田山自然公園や日本三大鉱山の一つである半田銀山、戦国時代の分国法として名高い「塵芥集」を制定した伊達植宗の居城である桑折西山城跡、江戸時代に作られた西根堰、明治時代に建築された擬洋風建築の旧伊達郡役所など、数多くの自然や歴史的・文化的な財産が存在しています。

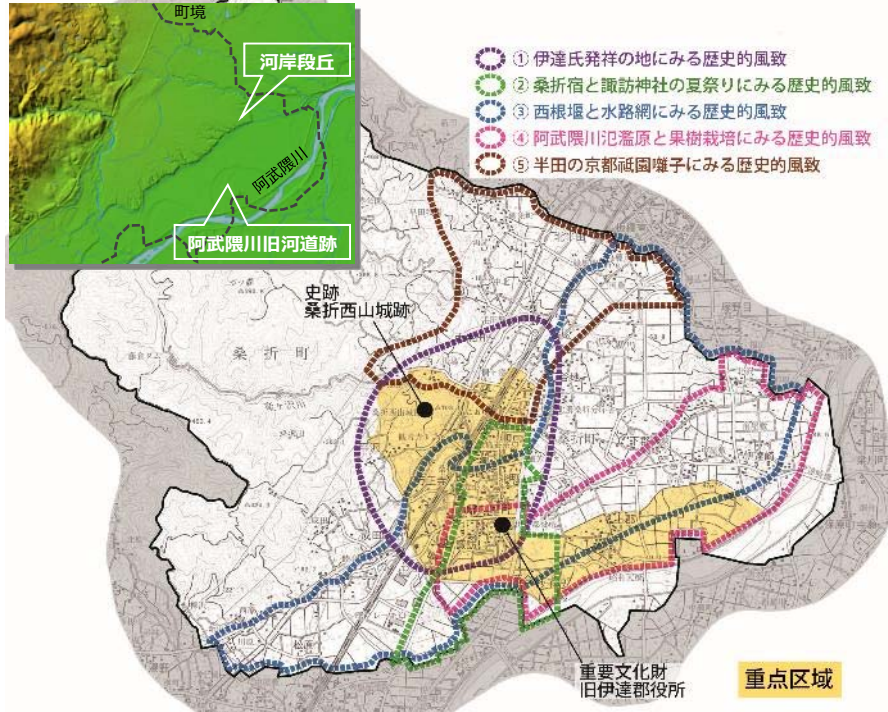
伊達氏ゆかりの遺跡が各所に残り、奥州街道の宿場町として栄えた桑折宿の町並み、その町並みを舞台として今なお受け継がれている伝統行事、さらに地理的条件を巧みに活用したモモ畑等の生業の風景が一体となって桑折町の歴史的風致を形成しています。



桑折西山城跡（史跡）



旧伊達郡役所（重要文化財）



- ① 伊達氏発祥の地みる歴史的風致
- ② 桑折宿と諏訪神社の夏祭りにみる歴史的風致
- ③ 西根堰と水路網みる歴史的風致
- ④ 阿武隈川氾濫原と果樹栽培みる歴史的風致
- ⑤ 半田の京都祇園囃子みる歴史的風致

③ 西根堰と水路網みる歴史的風致

江戸時代の高度な技術によって、水掛かりの悪い扇状地に美田をもたらした「西根堰」。農業に限らず、西根堰から分水された水路は桑折市街地の宅地内に引き込まれ、生活用水としても利用されています。西根堰は桑折町民にとって誇りであり、今も身近な存在です。



■ 西根下堰



■ 旧平沢屋の庭園

④ 阿武隈川氾濫原と果樹栽培みる歴史的風致

阿武隈川氾濫原では、その地形や地質を巧みに活かし、洪水と戦いながら、かつては桑、現在は果樹といった土地に適した作物が栽培されてきました。モモ畑で行われる一連の農作業は、地域の風物詩、原風景です。



■ モモ畑と半田山



■ 収穫作業

⑤ 半田の京都祇園囃子みる歴史的風致

江戸時代に京都から伝えられたといわれる「京都祇園囃子」。地域の人々の強い意思と熱意で絶えることなく伝承されてきた伝統芸能は、半田地区の春または秋の風物詩となっています。



■ 壱東京都祇園囃子の公演



■ 八幡神社境内での演奏

① 伊達氏発祥の地みる歴史的風致

本町には、戦国時代の伊達氏居城の桑折西山城跡、伊達氏初代朝宗の墓所、伊達五山の一つの観音寺など、伊達氏ゆかりの遺跡が多数残されています。地域の住民は「伊達氏発祥の地は桑折」という誇りを持ち、遺跡の保存・愛護活動が今も受け継がれています。



■ つつじヶ岡遺跡



■ 伊達朝宗墓所での見学会

② 桑折宿と諏訪神社の夏祭りにみる歴史的風致

奥州街道の宿場町として発展した町の中心市街地では、現在も地域の人々が大切に守り続けてきた諏訪神社の祭りが毎年行われています。旧伊達郡役所などの歴史的建造物と一体となり、各若連が競いながら屋台を巡行させる祭りは、桑折の住民の誇りとして伝えられています。



■ 安達家前を進む稚児行列



■ 神社社殿前に集結した屋台

桑折町の重点区域における事業概要

重点区域の名称：桑折町歴史的風致維持向上地区
面積：566ha

【桑折町全域】

8. 歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業
9. 歴史・文化財学習講座事業
10. 歴史案内人育成事業
11. 小中学生の認識向上推進事業
17. 多言語周遊型観光パンフレット作成事業
18. 地域の文化遺産の調査及び継承支援事業
19. 文化財等保護活動団体及び歴史を活かしたまちづくり団体への支援事業

【重点区域内】

7. 屋外広告物等の景観に配慮した改修に対する助成事業
14. 周遊性向上・案内板等整備事業

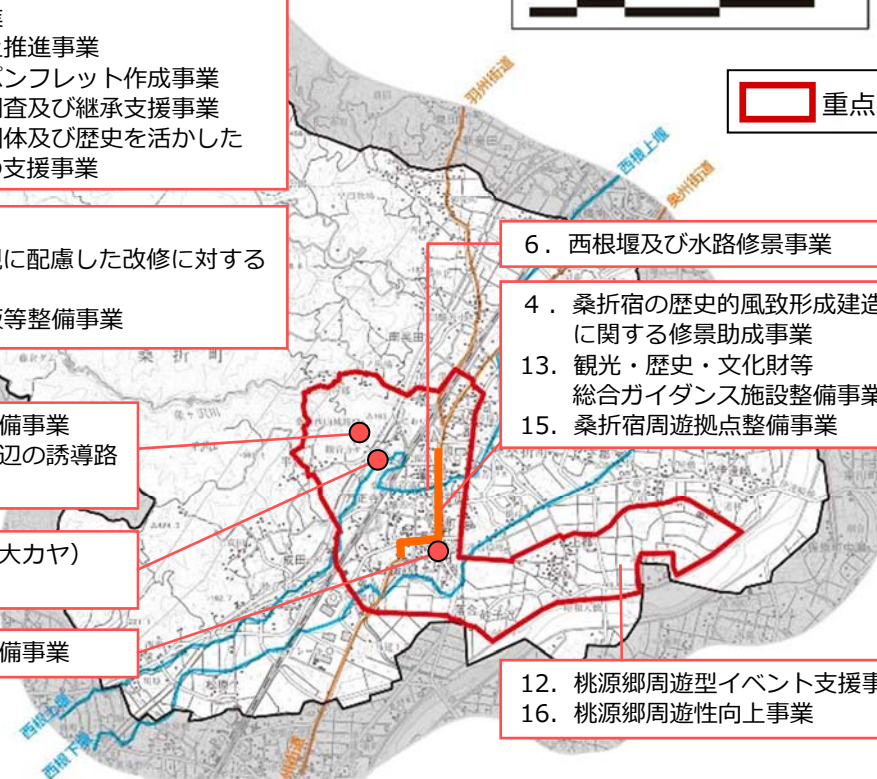
1. 史跡桑折西山城跡整備事業
2. 史跡桑折西山城跡周辺の誘導路及び駐車場整備事業

3. 大榎遺跡（万正寺の大力ヤ）周辺整備事業

5. 旧伊達郡役所周辺整備事業



重点区域



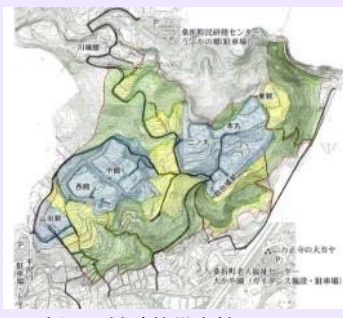
6. 西根堰及び水路修景事業

4. 桑折宿の歴史的風致形成建造物等に関する修景助成事業
13. 観光・歴史・文化財等総合ガイダンス施設整備事業
15. 桑折宿周遊拠点整備事業

12. 桃源郷周遊型イベント支援事業
16. 桃源郷周遊性向上事業

1. 史跡桑折西山城跡整備事業

戦国時代の山城を体験的に学習し、眺望や自然を楽しみ、憩える場所として、堀・土塁・大手道などの復元や遊歩道の整備、樹木の伐採、伊達氏関連史跡の解説も含めたガイダンス施設設置などの整備を行う。



■桑折西山城跡整備方針図

4. 桑折宿の歴史的風致形成建造物等に関する修景助成事業

桑折宿内に残っている歴史的建造物のうち、歴史的風致形成建造物について、修理・修景する際の一部費用を助成し、定期的に一般に公開する。



■歴史的建造物の修景イメージ

6. 西根堰及び水路修景事業

西根堰や西根堰から分水する水路について、古い建造物が残っている部分の保存・維持を図るとともに、歴史的風致が色濃く残る場所に子供や大人が集まり楽しめる親水性のある空間として、復元・整備を行う。



■石積みが残る水路

8. 歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業

歴史や文化財を活かしたまちづくりや、町並みや桃源郷の風景などの景観の維持・向上に関する住民向けの講演会やシンポジウムを開催する。



■西山城跡の講演会

11. 小中学生の認識向上推進事業

小中学生に本町の歴史や文化遺産に関する知識を持ってもらうため、桑折町を総合的に分かりやすく説明する教材を作成するとともに、子供たちが体験しながら学べるような授業を開発する。



■小学生用副読本

14. 周遊性向上・案内板等整備事業

歴史的建造物や文化財等を効率よく巡ることができる散策ルートを検討する。

併せて、今後作成する案内板等の統一デザインを定め、散策ルートに合わせた案内板等の新設や更新を行う。



■案内標識